

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スローウォーク		公表日 令和7年1月10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・二部屋を同時に使ったり、外空間を活用している。	・より効率的なスペースの活用。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4.5	1	・指導員さんが適切なサポートができるように、準備等の軽減化に努めている。	・もう少し職員の数が増えると余裕が出る。(緊急に休まないといけなくなった場合、交代してもらえるかどうか心配になる)・体調不良や家の都合等で急な休みが必要な時に、勤務の交代をしてもらう際に困る時がある。・職員が急に休まざるを得ない時の補充が難しく休みづらい。また、休んだ職員の担当する子がその日の職員で振り分けることで負担が増えてくる。・イレギュラーのサポート対応も増えてきて、家族の体調不良等での急な休みもある場合、勤務が回るか不安に思う。もう少し一日の出勤職員の人数などが増えると安定したサポートができるように思う。・定員数に対する人員配置は適切になされているが、1日の勤務人数が増えることでさらにサポートが充実すると考える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・清潔、安全に配慮し、既存施設のできる限りの環境整備に努めている。	・古民家を活用しているのでバリアフリーになっていなかったり、学習している部屋に入って通り抜けしなければならなかったりする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・限られた施設であるが柔軟な活用に努めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・モニタリング、個別支援計画、日々のサポートに職員が関わることができるようにしている。・情報共有できるように、業務日報に連絡事項を記入している。・情報共有できるように、業務日報の確認や回覧資料の確認をして頂くように自身も意識し、非常勤の方にも呼び掛けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員で話し合いの場をもち、業務改善にいかしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・業務内容の見直しや改善を行いながら、職員の負担の軽減につながるよう意見等、発言しやすい環境を作って頂いている。・意見を発言しやすい環境を作って頂いている。業務内容の見直しや改善が図られ、負担の軽減につながることは大変有難いことだと感じている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1			・学校関係者、保護者代表、社長(役員)等をメンバーとしてから第三者委員会を立ち上げ評価をしてもらうのが良いのでは。・設置自体が過度な負担とならないように努めた。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・法人内での各種研修や外部研修参加の機会が多く設けられている。	・職員がさらに外部研修に参加出来るような工夫が必要である。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・全職員に意見を求め作成している。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	7		・モニタリングを初めとして、その都度の保護者からの情報、子どもの実態を職員で協議・共有している。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・毎朝行われる情報交換を初め、あらゆる機会を生かし子どもの実態把握を行い個別支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・各児童のサポートをするファイルに印刷した個別支援計画が綴じ込まれており、日々のサポートに役立つようにしてある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・一般的な検査結果や施設独自の到達度評価を活用している。	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・令和6年度からの個別支援計画には、それらのねらいや、必要な項目を設定した。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・関わりがある職員を中心に多くの職員の意見を取り入れている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・個々の児童の成長段階を把握して適宜プログラムを改善している。また、施設長や経験豊富な職員からのアイデアや助言で内容も工夫されたプログラムになっている。・個々の児童の成長段階を把握して適宜プログラムを改善している。施設長や他職員からのアイデアや助言の中で内容の工夫を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7		・子どもの状況を見て個別活動と集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・業務日報や職員朝会を活用し連携した支援ができるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・終了後は時間がないので、翌日の会議で昨日の子どもの様子の情報交換をしている。・職員朝礼で、前日の子供の様子を報告し業務日報に記載している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			・達成状況、成長に合わせた支援が途切れることなく継続できるよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・職員、保護者とも定期的にモニタリングを実施している。子どもにも、サポート内容について意見を聞くこともある。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		① 自立支援と日常生活の充実のための活動として「子どもが意欲的に取り組める遊びを提供し、発達段階に合わせた動作を身に付けたり自立生活を支援したりすること」 ② 創作活動として「表現できる喜びを体験して豊かな感性を養う活動」 ③ 地域交流の機会の提供として「子どもの社会経験の幅を広げることを目指して地域の人との交流を図っていくもの」 ④ 余暇の提供「子どもが望む遊びやリラックスする練習などをし、ゆったりした雰囲気の中で活動に取り組むこと」に留意しながら支援できるように努めている。	
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・毎回のサポートで子どもの自己選択を大切にし子どもにサポート内容や量を選択させることもある。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	・関わりのある指導員も参加出来るように努める。	・従来は児発管だけの参加であった。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・可能な限情報交換をしたり、そういう場を設定したりしている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・面接や電話やメールで指導を受けている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・保育園とは共に活動をする機会がある。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・個別支援計画に沿った子どものサポート記録を電子媒体を使い毎日保護者に届けている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			・今後、施設から発信をしていきたい。
	32	【児童事業所・児童センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児童事業所・児童センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児童センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児童センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児童センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・学校とは電話やメール、訪問などを通して密接に関係を保っている。	
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5.5		・必要に応じて、電話や会議で情報を共有している。	
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			・求められれば情報を提供している。
	40	【放デイのみ】 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・自立支援協議会子ども部会に所属し、連携部長として意欲的に参加している。	
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・保護者が分かりやすいように説明をしている。	・契約時に保護者が記入する実態把握用紙は手書きであるが、今後、口頭・パソコン入力等を導入していきたい。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を最重要視している。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・モニタリングの際に保護者と共に個別支援計画を考え、できあがった内容を再度保護者に意見を求め、最終的に同意を得ている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・モニタリングを初めとして、その都度の保護者からのお声を真摯に受け止め相談に応じる場につなげている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3.5	2	・電子媒体等を使い、実施に向けて考えている。	・こういう機会はほとんどない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・最優先で対応している。	
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・サポート後、保護者には文章や写真等を使い発信している。		

	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・書庫に施錠したり、扱いに注意している。	
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・可能な限り配慮している。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		・今後、検討していきたい。
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・相談の申し出があった場合は、必ず対応している。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・策定し、必要に応じて訓練等、実施している。	・今後、周知に向けて検討していきたい。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・策定し、避難訓練等、実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・事前に保護者からの情報を全員で受け止め、対应用紙を作成して、急な対応に備えている。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・事前に保護者に記載していただき、対応が必要な場合は適切に対応する。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・年に複数回の委員会と職員会、研修等で周知し、支援に生かしている。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・今後、周知に向けて検討していきたい。
非常時等の対応	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・月に一度安全点検を実施している。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・年に複数回の委員会と全体研修を実施している。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			・今後、記載に向けて検討していきたい。